



The Weekly Report of SUNAGAWA RC

砂川ロータリークラブ会報

■ 本日は11月26日(水) 第2623回 例会 ■

会員卓話 副幹事担当
「プラススタイルについて」
水島 聖一 副幹事

※RCレート 11月1日より 1\$ 154円

■ 次 週 の 予 定 ■

12月3日(水) 定時総会 会長担当
第2624回 クラブフォーラムⅠ
12月10日(水) クラブフォーラムⅡ 副会長担当
第2625回

第2622回例会記録 2025年(令和7年)11月19日(水) 曇「4つのテスト」唱和「それでこそロータリー」斉唱

- ・ゲスト紹介
国際ロータリー2510地区ロータリー財団委員会
副委員長 松原重俊様
国際ロータリー2510地区赤平ローターアクトクラブ
会長 伊達 大智様
- ・ビジター紹介 本日はいらっしゃいません。

ロータリー米山記念奨学会より

俵谷会員へ米山功労者 第1回

永森会員へ米山功労者 米山功労者 第2回マルチプル

山崎会員へ米山功労者 米山功労者 第3回マルチプル

会 長 報 告

会長 松原 重俊

- ①2026年台北国際大会 R I 推進委員会より台北国際大会の行程表、申し込みのご案内が届いております。
- ②FMなかそらちより2026年ラジオ年賀CMの依頼が届いております。
- ③プレス空知より令和8年元旦号 年賀広告の依頼が届いております。
- ④国際ロータリー第2510地区 職業奉仕委員会より講演会のご案内が届いております。
- ⑤第2510地区ローターアクトより「北海道ローターアクトラーニングワークショップ開催のご案内」が届いております。

幹 事 報 告

幹事 西川 公平

本日はございません。

委 員 会 報 告

ロータリー財団・米山記念奨学会

委員長 信太 英樹

本日、ロータリー財団へ 永森直弘会員、造田孝志会員、佐藤洋一会員、山下克己会員からそれぞれ150ドル、 瓜 俊雄会員から200ドルのご寄付をいただきました。有難うございます。

例 会

ゲ ス ト 卓 話

財団・米山委員会担当

委員長 信太 英樹

ーグローバル補助金事業についてー

2025-2026第2510地区グローバルグラント・ツアー

ロータリー財団委員会

副委員長 松原 重俊 (砂川RC)

冒頭、堀江委員長から会員の皆様のマイロータ



リーへの登録状況を説明していただきました。皆様にとって必ず必要になる事項になり

ますので、必ずトライしてみてください。

日頃からロータリー財団に対し、ご理解とご協力を頂いておりますことにお礼と感謝を申し上げます。1917年、当時のロータリー会長アーチ・クラフが、「世界でよいことをするための」基金の設置を提案。このビジョンそして26ドル50セントの最初の寄付が全世界で多くの人の人生を変える財団へと発展し、それから100年にも及ぶ長きにわたり教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。ロータリー財団の使命は、ロータリーの会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。

さて、2025年9月28日(日)～10月2日(木)に16名の参加者のもとで「2025-2026第2510地区グローバルグラント・ツアー」が開催されました。石丸財団委員長、出村PGとともに5名のローターアクトも参加する中で、タイのノンカイを中心にラオスを含めたツアーで、「Save Mekong River」環境保全グローバル補助金による事業です。今回は、リサイクルボックスや収集車など実施状況の確認と今後の打ち合わせを行いました。そして、ローターアクトが用意した環境保全に関する手作りの紙芝居やドラえもんに扮した子ども達との交流など楽しい一時を過ごしました。

本日は、赤平ローターアクト 伊達 大智会長にお越しいたき、赤平ローターアクトクラブについてお話を頂きました。赤平ローターアクトクラブは、1976年5月20日に赤平RCが提唱し設立された、歴史

のあるクラブです。現在、会員3名で活動しており、時には第2グループの皆様はじめ、友好ローターアクトクラブの協力を得ながら、「こども縁日」や「ポリオ根絶募金活動」、「保育所の棚塗装」等、様々な活動を行っているとお紹介していただきました。その後、赤平ローターアクトクラブ50周年記念事業の「教えてドラえもん！メコン川から始まる「地球を守る読み聞かせ付図書プロジェクト

「DORAEMONN Reading for Peace&Planet-Save Mekong River Education Project-」についての説明と協力の依頼がありました。

ロータリー財団は、皆様からの温かいご支援が全てです。どうぞ今後ともロータリー財団に対し、皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

～赤平ローターアクトクラブ50周年記念事業～

国際ロータリー2510地区赤平ローターアクトクラブ
会長 伊達大智様

趣旨・目的

本企画は、赤平ローターアクトクラブ（以下、赤平RAC）が創立50周年を迎えるにあたり、人口減少・若者流出に伴う会員減少という課題に対して、「グローバル」「青少年育成」「広域連携」の三本柱から、実効性のある新しい「広域RACモデル」を提示するものである。特に、ロータリー財団グローバル補助金事業「Save Mekong River」で得た知見を基軸に、図書寄贈+ドラえもんによる読み聞かせという文化教育型の奉仕活動を展開し、環境保全×読書教育×多言語学習を融合させた「複合型の奉仕モデル」を構築することを目的とする。

背景・現状分析

国際ロータリー第2510地区（以下、D2510）は「グローバル」を重点テーマに掲げ、海外での奉仕活動を推進している。その一環として実施されたグローバル補助金事業「Save Mekong River」（D2510×D3340）に当クラブの佐藤会員も参加し、現地で教育環境の課題を直に感じた。特に、地方部では図書の不足や多言語教育の機会が限られていることから、タイの子どもたちに「読書と言語を通じて学びの機会を届けたい」という想いが生まれた。一方で、赤平RACの会員数は現在3名と少なく、新規会員の開拓は行っていないものの、赤平市（人口8,332人／2025年時点）では若年層の流出が続き、ロータリアン・ローターアクト候補の人材基盤が縮小している。D2510においても、ロータリークラブ（以下、RC）およびRACの会員数は減少傾向にある。しかしこれは逆に、芦別・滝川・砂川を含む第2グループ全体で「広域RACモデル」を形成する好機でもあると考える。単独クラブではできないことを、広域ネットワーク「中空知モデル」を実現することで、地域の垣根を越えた持続的な奉仕体制を築くことができると見ている。

青少年育成（多言語対応ドラえもん図書キット：教育効果の拡張）

現地の子どもたちを「少年世代」と捉え、言語教育

を通じて将来の可能性を広げることを目的とする。日本語・英語・タイ語の3言語版『ドラえもん』を含む100冊をセットで寄贈し、「読むだけで終わらない、使われ続ける学習ツール」として活用できるように設計する。

『ドラえもん』は世界中で親しまれる物語であり、そのストーリーの共通性が文化や言語の壁を越えた共感を生み出す。この親しみやすい題材を通じて、子どもたちは物語を楽しみながら、自然と異文化理解と多言語への興味を育むことができる。

また、日本語・英語・タイ語の3言語を併記した読み聞かせ台本を付属し、教師・生徒・地域住民が継続的に活用できる形とすることで、「本を配る」だけの支援ではなく、「学びのサイクルを渡す」奉仕活動へと発展させる。

出席報告

委員長 福地真紀子

第2622回例会

※在籍数 41名 ※出席規定免除 2名

※本日出席基数 40名 ※本日欠席者数 8名

※本日出席率 82.50%

※本日欠席者 佐藤文優会員、阿部憲道会員
水島聖一会員、成田英彦会員、大橋俊彦会員
沢田広志会員、飯澤明彦会員

ニコニコボックス

※本日、卓話をさせて頂き。堀江委員長、伊達会長
ありがとうございました。松原重俊会長

※例会を担当させて頂いて。松原会長、伊達
ローターアクトクラブ会長ありがとうございました。
信太英樹会員

※しばらくお休み頂きました。ありがとうございます。
高坂 誠会員

※創業記念を頂き。ありがとうございます。

小野志伸会員

※義母の葬儀に際しまして、お心づかい誠にあり
がとうございました。◎小野志伸会員

※米山功労者を頂いて。永森直弘会員

※米山功労者3回目マルチプルを頂きました。

山崎義彦会員

※祖父の四十九日を無事終える事が出来ました。そ
の節は大変お世話になりました。☆西川公平会員
※米山功労者をいただき。俵谷 薫会員

本日のニコニコBOX 44,000円 累計額 687,000円

☆は超高額、◎は高額、○は多額

※米山記念奨学会：目標 14,000円/人

本日 , 0円 累計 337,000円

※ロータリー財団：目標 230\$/人

本日 800\$ 累計 2,780\$

ガバナー月信

QRコード



本号担当：香山素子 次号担当：香山素子

事務局：NPO法人ゆう内（TEL0125-54-3111）

会長 松原重俊 幹事 西川公平

欠席届は前日昼迄に永森直弘SAAまで（TEL52-2309・FAX74-6002）